

天野屋市兵衛氏文書(1)概要

- 1: 文書群番号 092001
- 2: 文書群名 天野屋市兵衛氏文書(1)
- 3: 出所 天野信一郎家
- 4: 家業・役職等 尼崎中在家町五丁目浜出買人／中在家町生魚問屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎中在家町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市
中在家町
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
- 7: 歴史 天野家は近世から近代にかけて中在家町で生魚問屋を営んでいた。
中在家町は元和4年(1618)に開始された尼崎城の築城にともなって、
城の西方に移転・建設された町で、生魚問屋をはじめ漁業関係の商人や
漁民が多く居住した。同町には当初東部の戒の浜に、宝暦8年(1758)の
移転以降は西の大浜筋4丁目に魚市場があり、近海や西国各地から魚が
入荷し、尼崎だけでなく大坂・京都にまで出荷するなど、生魚取引の中
心地であった。
- 8: 伝来 同家文書(1)749点、(2)54点と本来一体であると考えられる。平成4年
(1992)5月、天野信一郎氏より寄託。
- 9: 史料入手先 天野信一郎氏
- 10: 点数 2点(目録件数2件)
- 11: 年代 享和3年(1803)、明治5年(1872)
- 12: 構造と内容 本文書群は、享和3年(1803)「銀子借用証文」と明治5年(1872)「旧尼
崎藩調達金明細書上帳」の2点からなる。
「銀子借用証文」は、同業の魚問屋名塩屋へ銀子を貸した際の証文。
「旧尼崎藩調達金明細書上帳」は、天野氏が旧尼崎藩のために融通した
金の未返済額を、明治5年になって兵庫県に提出した帳面である。
- 13: 関連史料 天野屋市兵衛家文書(1)(2)(文書群番号062001、080011)、徳田善五郎氏
文書(1)(2)(文書群番号063003)、魚問屋奥田家文書(文書群番号
083001)、奥田吉康氏文書(文書群番号077004)など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳